

編輯室の内外

日本支那事變は既に一年餘となり、今日戰線の擴大はめざましく而かも漢口陥落するも戰はやまず、愈々長期戰の第三期にまで進んだのである。國民一體は戰地に在ると統後には在るとを問はず尤も眞面目に立働き緊張裡に終始しなければならぬ、老も若も男も女も皆悉か協力一致を以て事變の最後を見届けるまでは毫末も弛緩することを許されない。吾々文章報國の任に在る者も亦畢生の努力をいたすべきものである。吾々の覺悟は一に此處に在るのである。

日に日に迫り来る内外の情勢は國民として漫然憂いのを得ない、ソ聯との越境事件は先づ落着したが如きも未だ以て安心を爲し得べき實情とは認められない。神戸其他各地の水禍は實に事變下に於ての經濟上に甚大なる苦痛を感じしめるゝ。土木事業の應急工事費のみにても千五六百萬圓を算し、國庫補助金五百幾十萬圓は殆んど第二豫備金より支出せざるを得ない。臨機處置に出づるのむなきこととなつた。恐るべきは自然の破壊力、戒むべきは人間の現金主義である。

荒木文相は突如として大學界に巨彈を投下した。大學關係者は驚かされた、大學自らが認められて久しき年間健かに發育しつゝあるのに今之を奪取せんとするは反対する。大學の生命を掠奪するものであると反対する者、既に大學の自治は頽廢しある大學は腐敗しきつて居る。今に於て大手術を施すにあらば大學は亡ぶるのであると文相に左袒する

る者混然難然として相處の狀を呈せるを見よ。私立大學派は私かに帝大のざまを見よと云はねばかりである。誰れか鳥の雌雄を裁斷するか革新の氣運は普く動いて居るが最後に在るとを問はず尤も眞面目に立働き緊張裡に終始しなければならぬ、老も若も男も女も皆悉か協力一致を以て事變の最後を見届けるまでは毫末も弛緩することを許されない。吾々文章報國の任に在る者も亦畢生の努力をいたすべきものである。吾々の覺悟は一に此處に在るのである。

日に日に迫り来る内外の情勢は國民として漫然憂いのを得ない、ソ聯との越境事件は先づ落着したが如きも未だ以て安心を爲し得べき實情とは認められない。神戸其他各地の水禍は實に事變下に於ての經濟上に甚大なる苦痛を感じしめるゝ。土木事業の應急工事費のみにても千五六百萬圓を算し、國庫補助金五百幾十萬圓は殆んど第二豫備金より支出せざるを得ない。臨機處置に出づるのむなきこととなつた。恐るべきは自然の破壊力、戒むべきは人間の現金主義である。

荒木文相は突如として大學界に巨彈を投下した。大學關係者は驚かされた、大學自らが認められて久しき年間健かに發育しつゝあるのに今之を奪取せんとするは反対する。大學の生命を掠奪するものであると反対する者、既に大學の自治は頽廢しある大學は腐敗しきつて居る。今に於て大手術を施すにあらば大學は亡ぶるのであると文相に左袒する

る者混然難然として相處の狀を呈せるを見よと云はねばかりである。誰れか鳥の雌雄を裁斷するか革新の氣運は普く動いて居るが最後に在るとを問はず尤も眞面目に立働き緊張裡に終始しなければならぬ、老も若も男も女も皆悉か協力一致を以て事變の最後を見届けるまでは毫末も弛緩することを許されない。吾々文章報國の任に在る者も亦畢生の努力をいたすべきものである。吾々の覺悟は一に此處に在るのである。

日に日に迫り来る内外の情勢は國民として漫然憂いのを得ない、ソ聯との越境事件は先づ落着したが如きも未だ以て安心を爲し得べき實情とは認められない。神戸其他各地の水禍は實に事變下に於ての經濟上に甚大なる苦痛を感じしめるゝ。土木事業の應急工事費のみにても千五六百萬圓を算し、國庫補助金五百幾十萬圓は殆んど第二豫備金より支出せざるを得ない。臨機處置に出づるのむなきこととなつた。恐るべきは自然の破壊力、戒むべきは人間の現金主義である。

荒木文相は突如として大學界に巨彈を投下した。大學關係者は驚かされた、大學自らが認められて久しき年間健かに發育しつゝあるのに今之を奪取せんとするは反対する。大學の生命を掠奪するものであると反対する者、既に大學の自治は頽廢しある大學は腐敗しきつて居る。今に於て大手術を施すにあらば大學は亡ぶるのであると文相に左袒する

る者混然難然として相處の狀を呈せるを見よと云はねばかりである。誰れか鳥の雌雄を裁斷するか革新の氣運は普く動いて居るが最後に在るとを問はず尤も眞面目に立働き緊張裡に終始しなければならぬ、老も若も男も女も皆悉か協力一致を以て事變の最後を見届けるまでは毫末も弛緩することを許されない。吾々文章報國の任に在る者も亦畢生の努力をいたすべきものである。吾々の覺悟は一に此處に在るのである。

日に日に迫り来る内外の情勢は國民として漫然憂いのを得ない、ソ聯との越境事件は先づ落着したが如きも未だ以て安心を爲し得べき實情とは認められない。神戸其他各地の水禍は實に事變下に於ての經濟上に甚大なる苦痛を感じしめるゝ。土木事業の應急工事費のみにても千五六百萬圓を算し、國庫補助金五百幾十萬圓は殆んど第二豫備金より支出せざるを得ない。臨機處置に出づるのむなきこととなつた。恐るべきは自然の破壊力、戒むべきは人間の現金主義である。

荒木文相は突如として大學界に巨彈を投下した。大學關係者は驚かされた、大學自らが認められて久しき年間健かに發育しつゝあるのに今之を奪取せんとするは反対する。大學の生命を掠奪するものであると反対する者、既に大學の自治は頽廢しある大學は腐敗しきつて居る。今に於て大手術を施すにあらば大學は亡ぶるのであると文相に左袒する